

がっこうきゅうしょくおうえんだん 学校給食応援団だより



がっこうきゅうしょくおうえんだんとはみんなが食べている給食のために、野菜や果物を育てて、給食センターへ運んでくれる農家のグループの事です。

応援団は、佐久、臼田、浅科、望月にそれぞれあり、約100人のメンバーで活動をしています。

応援団の育てている野菜や果物は給食でたくさん使われています。

給食を食べるときには、「学校給食応援団のみなさんの食材が使われているのかな」なんて考えながら食べてみてください。

9月14日にかぶの種まき、

11月11日にかぶ、大根の収穫体験をしました！

臼田小学校の三年生が臼田学校給食応援団の団員である池田さんが働く佐久市有機農業研究協議会の畑で農業体験をしました！



臼田学校給食応援団 池田さん

かぶの種まき

まず、穴に種を4粒ずつ撒き、全部まき終えたら、土を少しかけてよく押します。

次に切ワラをかけて、水をたっぷりかけます。

みんな楽しくみながら、かぶの種まきができました。



かぶ、大根の収穫

大きくなったかぶ、大根をみんなで収穫しました。

大根はとても大きく、2人で1つの大根を握りました。

たくさんのかぶと大根が収穫できました。



きゅうしよく ～給食ができるまで～



あさしながっこうきゅうしよくおうえんだん
浅科学校給食応援団
マネージャー 小林さん

みんなが毎日食べている給食にはたくさんの人が関わっています！

浅科学校給食応援団マネージャーの小林さんのお仕事と、

学校給食浅科センターで野菜が調理される様子を見せてもらいました！



受け取った野菜を給食センターに届けています。
冬は野菜が凍らないように発泡スチロールの箱に入れて運んでいます。



今日はマネージャーの小林さんが応援団員の
高野さんからじゃがいも、
峯村さんから長ネギを受け取りました。

団員のみなさんはとても仲が良く、2ヶ月に1度会議を開き、さらに美味しい野菜を育てられるように話し合いをしています。



長ネギを洗い、
機械で細かく切ります。

皮をむいたじゃがいもを洗い、
包丁でいちょうの形に切ります。



切った長ネギはスープの中に入れて混ぜます。

切ったじゃがいも茹でて、他の食材と和えます。



給食の完成です！
応援団員が届けたじゃがいもがジャーマンポテトに、
長ネギがスープになりました。